

# 目次

□ 卷頭の言……………	龍山日淵謹草……………	(一)
□ 聖誕七百年恭賦……………	延山日叡上人……………	(四)
□ 立法華肝要集(承前)……………	清水龍山……………	(五)
□ 佛教史上に於ける日蓮教義の特色……………	藤田光肇……………	(一七)
□ 鎌倉殿中間答考(承前)……………	堀龍淳……………	(二〇)
□ 日本佛教史上より觀たる日蓮聖人……………	藤田沼南……………	(二四)
□ 成佛論祖判文證類集……………	荒木經明……………	(三〇)
□ 三熱の炎と偉大なる暗示……………	川口智隨……………	(三二)
□ 布教傳道の規範……………	辻能學……………	(三七)
□ 日蓮主義鑽仰の氣運……………	志村皓堂……………	(三九)
□ 善日鷹の使命……………	小林峰月……………	(四四)
□ 改造の眞意義……………	かなめ……………	(四八)
□ 宗教的体験の價值……………	かたなめ……………	(五〇)
□ 蓮華色の出家を讀みて……………	太田純志……………	(五五)
□ 聖き涙……………	泰觀行……………	(五七)
□ 聖誕七百年に際して世人に訴ふ……………	高瀬教闇……………	(五九)
□ 奉迎七百年聖誕……………	結城瑞光……………	(六三)
□ 自覺せよ青年僧侶……………	戸田峰仙……………	(六六)

□ 虹影の凝視……………	岡 鳴 月……………	(六九)
□ 學問の軌範……………	高山 惠忍……………	(七一)
□ 聖誕の警鐘は鳴る……………	徳光 泰良……………	(七三)
□ 古きノートの中より……………	南陽 榮昭……………	(七五)
□ 過去より現在へ……………	江原 亮勇……………	(七六)
□ 聖誕七百年にちなみて……………	津田 春曉……………	(七九)
□ 身延の夕暮……………	高崎 一二……………	(八〇)
□ 偶感……………	井無田 壽水……………	(八〇)
□ 留學生及び卒業生……………		(八〇)
□ 三月の窓から……………		(八三)
□ 同窓會記事欄(一)(二)……………		(八五)
□ 文學部から……………		(八七)
□ 講演部から……………		(八八)
□ 運動部から……………		(八九)
□ 會計部報告……………		(九一)
□ 祖山同志會設立趣意書……………		(九四)
□ 校歌……………		
■ 日蓮聖人御眞蹟阿佛房御書(口繪)		
■ 校旗並に院長教頭御肖像(口繪)		